



あなたに合う泡盛さがしてください。 —いいね!AWAMORI展—



【経済産業部】

NO.13

沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合は、平成30年11月29日・30日に、沖縄大交易会2018の併催事業として「いいね!AWAMORI展」を開催しました。

海外・国内バイヤーに向け琉球泡盛の魅力を発信するため、泡盛の紹介や、海外進出の先進事例等の展示や試飲などを行い、2日間で960名が会場を訪れました。

琉球泡盛海外輸出プロジェクト

沖縄総合事務局では、沖縄県酒造組合、沖縄県のほか酒類、経済、観光などの団体・企業・個人や内閣府などの関係府省と連携し「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げ、酒造所が主体となつて行う海外への販路開拓などに向けた取組を官民一体となり後押ししています。

本展示会は、同プロジェクトの環境として、訪れる方ひとりひとりに合った「いいね!」と感じる泡盛を探していただくことを意図し開催しました。来場者の多くが会場全ての展示を回り、質問や試飲するなど高い関心を持っていただけましたようです。

泡盛と食のマリアージュ

(一社)日本ソムリエ協会の協力により、泡盛と食との組み合わせ提案を展示。同協会沖縄支部のソムリエが解説を交え、試食・試飲を提供しました。来場者からは、「泡盛が食事と合わさることで飲みやすく美味し

い、印象が変わった。」という声を頂くなど好評でした。

また、沖縄県酒造組合では、インバウンド向けの取組紹介や沖縄県内の全酒造所の泡盛の展示・試飲を行い、来場者から離島の泡盛への興味や飲み方などの質問が多く寄せられました。

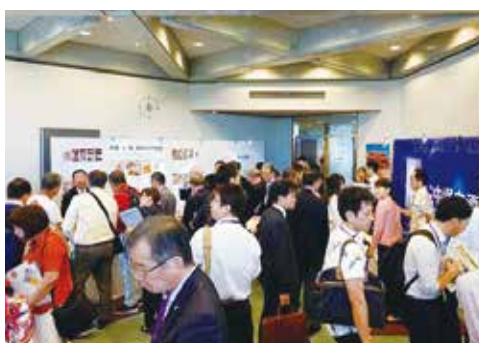
同組合の泡盛とチョコレートのマリアージュは、組み合わせごとにはつきりとした個性の違いがあり美味しいと人気を集めていました。

蒸留酒としての泡盛を海外へ

海外進出先進事例では(株)ピンコウHDの中国などに向け、泡盛を「白酒」(蒸留酒)として認知させるためブランディングの取り組みや、(株)Blue Ship 沖縄の欧米向けに複数の泡盛メーカーと連携し、ハードリカーとして泡盛のブランド構築を行う取り組みを紹介。また、同社が取り組む、沖縄県内で栽培した長粒種米で泡盛

を製造するプロジェクトの紹介では、先行して仕込んだ国産長粒種米の泡盛試飲を行い、香り・味が良いとの感想を頂きました。

沖縄総合事務局では、本展示会で得られたご意見を関係者と共有し、引き続き泡盛の海外展開を支援してまいります。



琉球泡盛海外輸出
プロジェクトHPはこちら



経済産業部 商務通商課

☎098-866-1741